

## 水稲「おいでまい」の生育診断ツールの作成

### 1. 背景・ねらい

近年の温暖化に伴う高温障害により、香川県産米の1等米比率は低迷を続けており、高品質米生産による1等米比率の向上が喫緊の課題となっています。このような中、香川県農業試験場において高温登熟性に優れた水稲新品種「おいでまい」が育成され、本品種による高品質・良食味米の生産を推進しているところです。その結果、高い1等米比率が確保され、2年連続で日本穀物検定協会による米の食味ランキングで特A評価を獲得できました。今後、作付面積が拡大しても品質・食味レベルを確保するとともに、産地によるバラツキを小さくする必要があります。そこで、「おいでまい」栽培者に適切な栽培管理を行ういただくための取組みを行いました。

### 2. 成果の概要と特徴

これまで農業試験場で実施した試験結果および普及センターで行った実証ほで得られた調査結果に基づき、「おいでまい」の栽培基準を策定しました。また「おいでまい」栽培の目標を①高品質米＝1等格付け、②良食味米＝タンパク質含有率6.5%以下（水分14.5%換算）と設定し（表1）、「おいでまい」栽培マニュアル（図1）を作成するとともに、均質生産を実現するための生育診断ツールを作成しました。

#### （1）「おいでまい」生育診断シート

##### ①穂肥診断シート（図2）

基肥＋穂肥の施肥体系において、出穂20日前の生育状況（草丈と葉色）により診断を行って適切な穂肥量を施用する必要がありますが、診断時期を逃すと診断基準に適用できないため、時期を逸しても幼穂長により草丈を補正して診断できる「イエス・ノー・チャート」を作成しました。

##### ②収穫適期判定シート（図3）

適期収穫を行うためには、黄変籾率による判定が有効であるため、黄変籾率を把握することによって収穫適期及び収穫晩限がわかる早見表を掲載しました。またその年の気象変動も加味して判定できるようにしました。

#### （2）「おいでまい」生育指標確認スケール（図4）

田植え30日後、穂肥診断時、出穂期及び成熟期の生育ステージ毎の生育指標（草丈、葉色）をほ場で簡便に確認できるよう、実物大の姿を示した四角柱状のスケールを作成しました。

### 3. 成果の活用面・留意点

平成27年産「おいでまい」は前年の作付面積の倍増に近い1300haを計画しており、全生産者に対して「おいでまい」栽培マニュアルを、また平成27年度「おいでまい」栽培者研修会において、「おいでまい」生育診断シートを配布しました。また「おいでまい」マイスター及び指導機関において、「おいでまい」生育指標確認スケールを活用していただくこととしています。

今後、さらにデータ蓄積を図りながら精度向上を行っていく予定です。

## 4. 主要なデータ等

表1 「おいでまい」栽培の目標

項目	内容
外観品質	検査等級1等
食味形質	タンパク質含有率6.5%以下(水分14.5%換算)

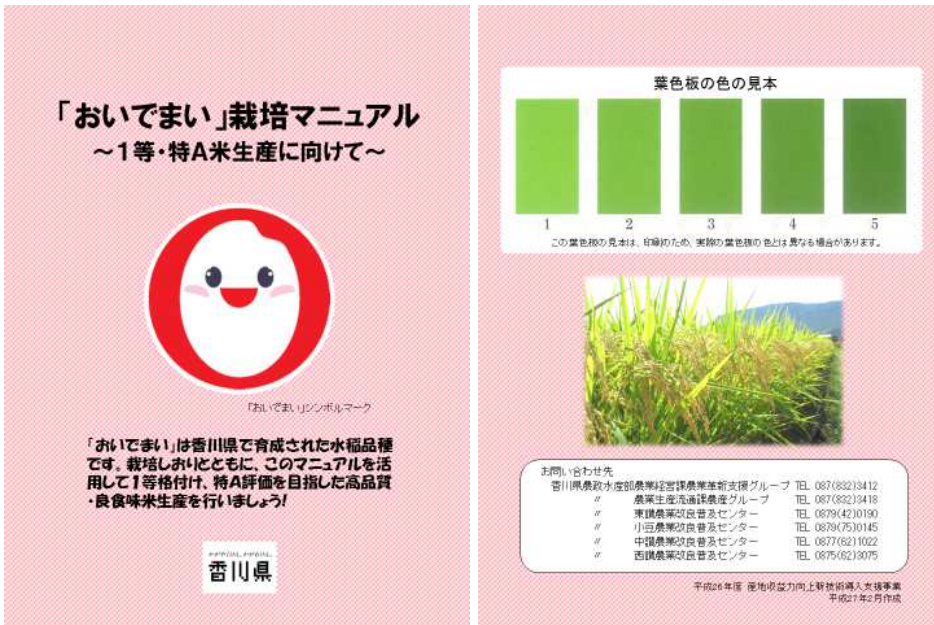


図1 「おいでまい」栽培マニュアル

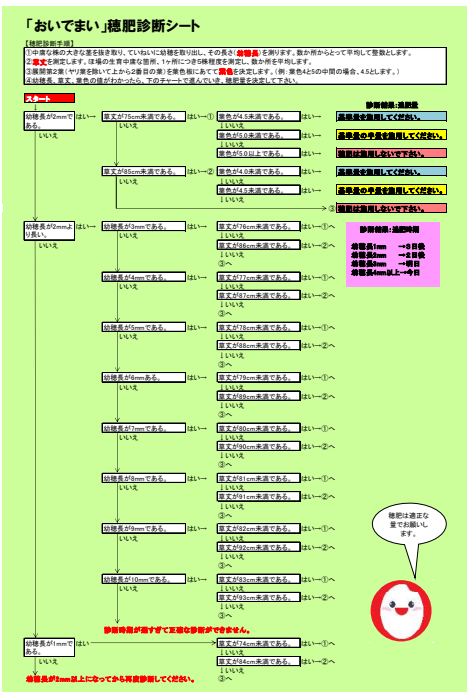


図2 穂肥診断シート

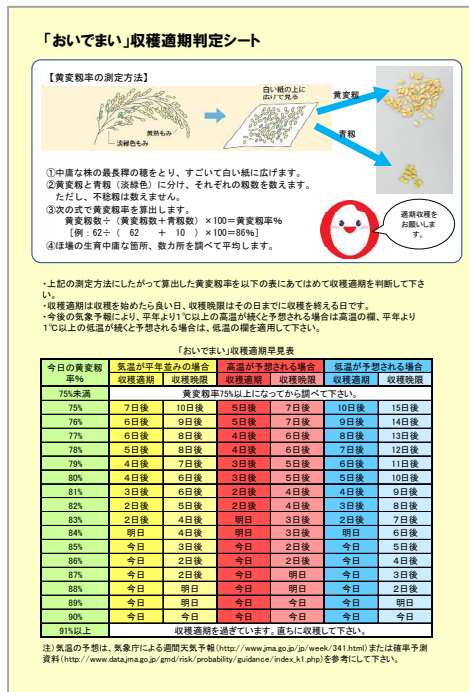


図3 収穫適期判定シート

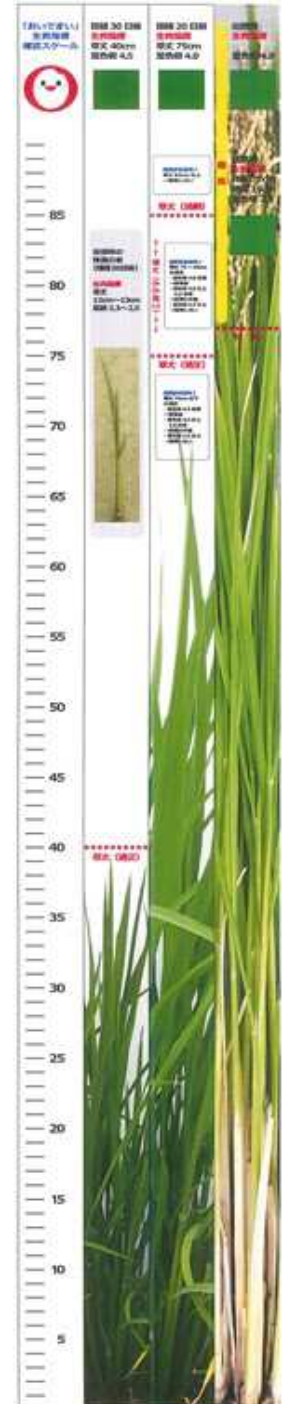


図4 「おいでまい」生育指標確認スケール

## 5. 実施期間 平成22～26年度

本課題の一部は、農林水産省新技術導入広域推進事業を活用しました。